

「思いで戻し隊・みえ」プロジェクト要項

目的:

東日本大震災の被害により、無になろうとしている個人の貴重な品々から、できる限りの「思いで」を救い出し、きれいにして山田町の方々に戻す。

※『思いで』とは…写真・アルバムを中心に、賞状・学用品・大漁旗・有価証券・個人が特定されるものも含む。

プロジェクトに取り組む条件:

※大切な品々をお預かりすることや作業負担などから、プロジェクトの実施主体は各団体・組織とする。

※個人のボランティアの参加可否など条件は取り組む各団体・組織に一任する。

◎三重県内の企業、団体、市民活動センター、学校などの教育機関で、以下が担えるもの。

- (1) 作業場所の確保(複数の人が作業できるスペースで、電気・水が使用でき、作業期間中は鍵ををかけて保管)
- (2) 参加ボランティアの募集・とりまとめ
- (3) 必要物品の準備・確保
- (4) 安全管理(品々の保管、参加者の安全衛生など)
- (5) 汚れて復元不可能な物の処分
- (6) 集積場所までの運搬 ※検討中
- (7) 必要経費の負担
- (8) みえ災害ボランティア支援センターとの連絡調整、報告



必要物品:

実施団体側が準備するもの (参加者に呼びかけたうえ、不足品を準備)	参加者が各自準備するもの ※汚れても良い服装で作業してください
<ul style="list-style-type: none"> ・はさみ、もしくはカッターナイフ ・ピンセット ・穂先の柔らかい筆、もしくは刷毛 ・ポケットアルバム ・衣装ケースやパンケース等大きめのケース、トレイ(水を入れて写真を浸ける) ・ナイロン紐・洗濯ロープ ・ブルーシート・ビニールシート ・可燃ゴミ袋・ネガ袋・ジップ袋 ・ガムテープ ・品物リスト(共通書式あり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンジ ・洗濯ばさみ(一人につき数十個) ・新聞紙 ・ふきんまたはタオル ・薄いゴム手袋 ・マスク ・エプロン ・お茶(自分の水分補給) <p style="text-align: right; color: red;">※事前にボランティア保険にご加入ください。</p>
<p>※参加者が各自準備するものについても、不足品は実施団体側が準備する。 ※ポケットアルバム・ネガ袋・業務用トレイはみえ災害ボランティアセンターでもいくつか確保しており提供可能(数に限りあり・要問合せ)</p>	

注意点: ※作業手順詳細についてはマニュアル参照

- ・復元が目的ではないので、復元不可能なものは処分する。(個人が特定されるもの・配慮が必要なものは破棄せず返還する)
- ・作業中の判断は複数の人員で行う。(個人の負担を避ける)
- ・作業する中で辛さや悲しさを感じることもあるため、周りの仲間と話す等の時間を持つ。
- ・写真以外の思いでの品は、袋または箱にまとめて品物リストに記入、添付する。

プロジェクト実施期間:

2011年5月～未定 ※山田町の状況による

みえ災害ボランティア支援センターのサポート:

- (1) ボランティアへの参加呼びかけ
- (2) 作業方法の資料提供
- (3) 作業経験者・現像経験者などアドバイザーの参加呼びかけ
- (4) 物資として集まったポケットアルバムの提供(数に限りがあります)
- (5) 思いでの品の配送手配(検討中)

プロジェクト実施団体の申し込み・問合せは・・・

みえ災害ボランティア支援センター

担当:山畑

電話 059-226-6916